

狭川地区地域ミーティング  
(通算第98回)

開催日	平成28年2月23日(火)
開催時間	午後7時30分～午後9時
会場	興東公民館 狭川公民館
参加者	33名



地 域 課 題	市 の 回 答
<p>1. 地域活性化対策について 市街化調整区域を見直し、企業の誘致、住宅地への開放を可能とし、地域の活性化を図りたい。</p>	<p>1. 奈良県から「住宅用地を目的とした市街化編入は、駅周辺等を除き、原則として市街化区域への編入は行わない。」と示されており、狭川地区においても、区域区分の変更は認められず、市街化区域への編入は困難であると考えます。今後、奈良県の基本的考えの変更があれば、情報提供します。</p>
<p>2. 農業政策（有害鳥獣対策）について 「奈良のシカ保護管理計画」の見直しの検討を願いたい。</p>	<p>2. 近年では鹿による農作物への被害も増加しており、「奈良のシカ保護管理計画」の策定に向けての検討が進められている。奈良市としても、捕獲区域の見直しを求めている。これらの動向を注視したい。</p>
<p>3. 地域福祉・高齢者福祉 高齢者の移動手段の確保について 例えば、学校のスクールバスを活用できないか。</p>	<p>3. 狭川地区を走るスクールバスは、奈良交通路線バスと、マイクロバスの2種類があり、路線バスには一般の方も利用は可能。一方、マイクロバスは、児童生徒のため、車輛をリースして運行を委託している。スクールバスについては、地域の方々の足の確保の手段として、何が出来るのかを関係部署と共に検討したい。</p>
<p>4. 地域の「見守り」活動について 若者の流失・高齢化が進み、老々介護・一人暮らし世帯が増加する。地域における「見守り」活動について、地域の「ご近所</p>	<p>4. 地域での見守り活動に新聞配達業者、宅配業者等民間事業者の活用も考えられます。業務中に高齢者等の見守りをしていただき、異変を察知した際に、奈良市と連携し対応できるよう協力を求めています。</p>

力」も限界がある。

5. 自治会活動について

当地区連合会は10自治会で構成される極小連合会です。世帯数・人口減などにより、将来は組織の見直しを考えなければなりません。

6. 防災・防犯活動について

防災行政無線が十分機能していない。緊急告知ラジオを高齢者宅等に配置できないか。

7. 避難所の開設について

狭川公民館狭川分館は避難場所ではないのか  
旧狭川幼稚園のリズム室を有効活用できないか。

8. 興東バンビー教室の狭隘について

9. 「生コン」等資材の配給手続きの変更について

手続きの簡略化を再考されたい。

5. 地区自治連合会や単位自治会は任意の地縁団体ですので、双方の自治会の会員の皆様が同意されれば、その旨を届出頂くだけです。なお、奈良市では、住民自治の新しい仕組みづくりについて検討を行っている。

6. 緊急告知ラジオについて、今年度、自主防災防犯組織の会長、各避難所等に配布しました。今後、各家庭向けに販売を予定しており、市の補助についても検討する。

7. 狭川地区では、興東小学校と興東公民館狭川分館を指定避難所にしている。災害時には、地域独自の避難所を確保できるよう検討したい。  
東部地区内に拠点備蓄倉庫の設置を検討するが、地域としても必要な備品確保に努めていただきたい。  
避難所の分散化は必要だが、鍵を開ける者が職員だけでは対応しきれない状況である。

8. 施設の狭さや老朽度、今後の児童数の推移などを総合的に勘案しながら、施設の充実に努めたい。

9. これまで依頼書に資材使用箇所の位置図並びに必要な量の根拠等が添付されていなかったので変更するものです。「生コン」等の資材配給の対象となる箇所は、市道及び里道です。